

《担当者名》○石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]
 塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

本講義では、NPとしてプライマリ・ケアの現場で活動する場面を想定しつつ、創傷のマネジメントについて学修する。慢性創傷、薬剤漏出による皮膚損傷について事例を基にシミュレータ等を用いて演習を行う。各行為における医療安全のリスクを理解し、インフォームド・コンセントの演習、また行為に関連する合併症発生時の対応を学修する。慢性創傷は、患者のQOLを大きく低下させる。創傷のマネジメントを学修しながらNPとしての役割と責任の範囲を検討する。また、動脈血液ガス分析が必要となる主要疾患とその病態について学び、検査の判断から実施、そして検査結果を判断する能力を養う。

【学修目標】

1. 患者背景を基に皮膚障害の発生リスクをアセスメントし、ハイリスク患者に対しての予防方法が説明できる。
2. 皮膚障害を発生した患者に対し、全身状態及び創傷状態の評価、および治療的マネジメントの方法をシミュレーションできる。
3. 輸液療法に関連した皮膚損傷発生時のリスクを理解できる。
4. 輸液療法における皮膚損傷発生時の薬剤投与の適応と副作用を理解できる。
5. 輸液療法における薬剤漏出時の皮膚損傷状態の評価とマネジメント方法を実施できる。
6. 呼吸状態をアセスメントする必要がある患者に対し、動脈血液ガス分析の適応・禁忌を説明できる。
7. シミュレータを用い、動脈血液ガス検査実施から結果の判断ができる。
8. 各行為における医療安全のリスクを理解し、対象者の背景に合わせてインフォームド・アセント及びコンセントについて演習を行う。
9. 各行為において医療安全のリスクを理解し、頻度が高く発生する合併症発生時の対応を演習する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	創傷ケア概論	【対面講義】 ・皮膚障害をもつ患者とQOLとNPの役割 ・高齢化社会と皮膚障害（皮膚障害の疫学） ・創傷ケアにおいて多職種連携を推進する方策	加藤 瞳（特別講師） 塚本 石角
2	慢性創傷のアセスメント	【Web-learning】 以下の内容についての動画を視聴し、与えられた課題を行う。 1. 皮膚及び軟部組織の解剖と生理、皮膚病態生理と様々な皮膚損傷 2. 皮膚障害のリスクとなる主要な基礎疾患と管理 3. 全身・局所のフィジカルアセスメント 4. 慢性創傷の種類と病態 5. 褥瘡の分類、アセスメント・評価 6. 治癒のアセスメントとモニタリング（創傷治癒過程、TIME 理論等） 動画視聴：60分 課題レポート：30分	石角
3	褥瘡のアセスメント	【Web-learning】 以下の内容についての動画を視聴し、与えられた課題を行う。 1. 慢性創傷のリスクアセスメント 2. 褥瘡及び創傷 治癒と栄養管理 3. 褥瘡及び創傷治癒と体圧分散 4. 褥瘡及び創傷治癒と排泄管理 動画視聴：60分 課題レポート：30分	石角 塚本
4	褥瘡と基本的知識	【Web-learning】 以下の内容についての動画を視聴し、与えられた課題を行う。 1. DESIGN - R に基づいた治療指針 2. 褥瘡及び創傷の診療のアルゴリズム	石角 塚本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		3. 感染のアセスメント 4. 褥瘡の治癒のステージ別局所療法 動画視聴：60分 課題レポート：30分	
5	下腿潰瘍と基礎的知識	【Web-learning】 以下の内容についての動画を視聴し、与えられた課題を行う。 1. 下肢創傷のアセスメント 2. 下肢創傷の病態別治療 3. 創部哆開創のアセスメントと治療 動画視聴：60分 課題レポート：30分	石角 塚本
6	慢性創傷のマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・患者の包括的アセスメントと創傷の評価 ・アセスメントを基とした治療的マネジメント ・マネジメント後の治療評価	加藤 瞳（特別講師） 塚本 石角
7	下腿潰瘍のアセスメントとマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・下腿潰瘍の重症化のリスク ・患者の包括的アセスメントと下腿潰瘍の評価 ・アセスメントを基とした治療的マネジメント ・マネジメントとしての陰圧閉鎖療法	柏田真希（特別講師） 塚本 石角
8	褥瘡のアセスメントとマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・患者の包括的アセスメントと褥瘡の評価 ・DESING-R に準拠した壊死組織除去の判断 ・全身状態の評価と壊死組織除去の判断 ・デブリートメントについてのインフォームド・コンセント ・シミュレータを用いたデブリートメント ・医療安全のリスク：出血時の対応 ・デブリートメント後の評価	柏田真希（特別講師） 塚本 石角
9 ） 11	輸液療法に伴う皮膚損傷と基礎知識	【Web-learning】 以下の内容についての動画を視聴し、与えられた課題を行う。 1. 抗癌剤の種類と臨床薬理 2. 各種抗癌剤の適応と使用方法 3. 各種抗癌剤の副作用 4. ステロイド剤の種類と臨床薬理 5. ステロイド剤の副作用 動画視聴：180分 課題レポート：90分	石角 塚本
12 ） 13	輸液療法に伴う皮膚損傷のアセスメントとマネジメント：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・医療安全のリスクとしての輸液療法に関する皮膚障害 ・患者の包括的アセスメントと皮膚障害の評価 ・皮膚障害発生時の患者への説明と治療に関するインフォームド・コンセント ・皮膚障害発生時の治療的アセスメント ・ステロイド剤の治療後の評価	加藤 瞳（特別講師） 塚本 石角
14 ） 15	呼吸状態のアセスメント：動脈血液ガス分析：事例検討	【対面講義】 事例を基に、以下の内容を演習形式で行う。 ・COPDの急性増悪の想定し、患者の包括的及び呼吸状態のアセスメント ・動脈血採血検査をインフォームド・コンセントから実施まで、シミュレータを用いて実施 ・医療安全のリスク：合併症（出血、血腫など）発生時の対応 ・検査結果を評価し、対応を検討	石角 塚本

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

筆記試験 70%、実技試験 30%（デブリーメント、動脈血採血）

【教科書】

創傷管理の必須知識(2008)．ルース・ブライアント著他、エルゼビア・ジャパン

ナースのためのアドバンスド創傷ケア(2012)．真田弘美（編）、大浦紀彦、溝上祐子、市岡滋． 照林社

【参考書】

【学修の準備】

必要な文献・資料を熟読しておくこと

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。